

## ◎ 広域災害時の調査や地域防災イベントにおけるドローン活用

### 背景/目的

- 火災新種保険に関する調査や広域災害における調査でドローンの活用を開始
- 火災新種保険や広域災害における調査では、広範囲の損害確認や人が容易に近づけない場所の調査などを行い、**早期の保険金支払いに貢献**（日常生活への早期復帰）
- 自然災害発生時の**被災情報の提供**、避難経路の撮影や災害発生予見場所の撮影などの**防災活動**、**地域の防災イベントへの参加**により地方創生活動へも貢献

### 関連するSDGs



#### ポイント①

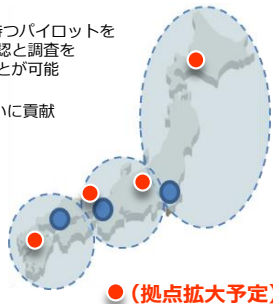


### 全国3か所にD.O.Tを設置し広範囲での調査活動が可能

※ D.O.T (ドローン・オペレーション・チーム)

- 火災鑑定人資格を持つパイロットを配置し、損害の確認と調査を同時に実施することが可能

↓  
早期の保険金支払いに貢献



● (拠点拡大予定)

#### ポイント②



### 調査の目的に合わせて、4機種 (合計6台) 保有



(追加予定)

#### ポイント③



### 次のような活動を実施しています

#### 1) 火災新種保険に関する調査

- ・建物の屋根や壁など高所の損害確認
- ・ソーラーパネルなど広範囲の損害確認



#### 2) 広域災害における調査

- ・広域災害発生時、迅速に広範囲の調査を行うことで、災害の全容を把握
- ・災害現場など人が容易に近づけない場所の調査



#### 3) 地方創生支援活動

- ・自然災害発生時の被災情報提供などの支援・協力
- ・避難経路の撮影や災害発生予見場所の撮影などの防災活動
- ・地域の防災イベント等へ参加 (ドローンの有効活用への認知向上)



### 取組みの成果

調査種類	実績	備考
火災新種保険に関する調査	75件	ドローン撮影画像をお客さまへ提供するなど、新たなサービスも開始
広域災害における調査	2件	平成30年7月豪雨 (2018年7月) 平成30年台風21号災害調査 (2018年9月)
地方創生支援活動	4件	AD EXPOでの活動紹介 (埼玉・千葉・広島などで出展)



西日本豪雨が襲った広島県呉市。あいおいニッセイ同和損害保険で建物の損害を調査する小松聖文 (35) と上村拓二 (42) は7月26日、被災した住宅を訪れた。急な斜面の中腹に建つ住宅の1階には土砂が流れ込み、住宅前の道も土砂で埋まっていて近づけない。そこで、昨年導入した小型無人機ドローンを使うことにした。小松がドローンを操縦し、上村がドローンに取り付けられたカメラであらゆる角度から撮影する。「2階の壁にもひびが入っているな」。調査は約30分で終了。すぐに「全損」と認定し、5日後には保険金が支払われた。

毎日新聞2018年8月11日 東京朝刊